



【お知らせ】

○第71回社会を明るくする運動

①社明活動（検討中、決定次第お知らせします）

- ・ 7月4日 12:30～15:00  
御影クラッセひろば  
社明ミニ啓発活動  
モニターを使用し、動画をエンドレス放映
- ・ 社明動画作成。配信  
7月1日～31日ホームページ公開  
協力団体等に応募依頼中  
⇒みなさんも是非応募してください
- ・ 広報  
7月下旬  
御影クラッセ4階の廊下  
ポスター、横断幕、パネル等掲示

②社明パネル

- ・ 6月中旬に発注予定
- ・ 7月上旬に配布予定

○第1回地域別定例研修

6月22日（火）午後1時30分～魚崎西町会館  
テーマ 「アセスメントに基づく保護観察の  
実施について」

○メールマガジン第22号（6月1日）

5月11日法務省ホームページの第71回”社会を明るくする運動”が更新されました。例年の広報用ポスター、リーフレットに加えて「Webデザインパーツ～デザインを通じてメッセージを伝える～」として、インターネット用バナー・SNS用ヘッダー、名刺用フォーマット、スマホ・タブレット用壁紙、SNS用アイコン、オンラインミーティング用バーチャル背景が、コロナ禍での活動を見据えて準備されました。

また、法務省保護局でも「触れ合いの温かさ」と、デジタルの軽やかさと。#社明71は、新しいことにチャレンジし、多様な豊かな発信を目指します。」とツイートしています。

まさにコロナ禍が屈折点となって新しい時代に入ろうとしているようです。

東灘区保護司会でも、「コロナだからできる」「コロナ後も続ける」の思いで、例年の「社会を明るくする集い」に替わって、新しい試みとして、かつての出演者、近隣の大学生、保護司、BBS会員等の「インターネット動画配信」を企画しております。

どうかみなさん、このチャレンジ企画に賛同していただき、メッセージ動画の応募をよろしくお願いいたします。期限は6月末です。

【新任のご挨拶】

○御影支部 岡本洋明保護司

新任挨拶

このたび委嘱を受け、みなさまに新任のご挨拶をさせていただきます。

新任研修が中止になり、専門的なお話を聞くことができなかったことから、東灘区保護司会チャンネルを拝聴させていただきました。まず、保護司会が取り組んでおられる犯罪予防活動として、「社会を明るくする運動」及び「学校との連携活動」は、まさに社会を変えるための実践と行動であると感じました。現在の会合等自粛期間が収まりましたら、積極的に参加したいと考えております。次に社会内処遇を実践する保護司の役割、またその心構えとしまして、対象者一人ひとりが尊敬されるべき個性をもつことを強く認識し活動します。それは理論的かつ人間的配慮のうえ、一人ひとり個性ある「桜梅桃李」であるということを中心に粘り強い対話で、対象者の悩みの中に触れて応えて参ります。そうしながら人のため、社会のために自分自身も力をつけ、貢献して参りたいと考えております。これから駆け出す新任者でありますので、みなさまの貴重な経験値から、専門的なご指導をどうぞよろしくお願い致します。

○住吉支部 伊藤裕啓保護司

新任の挨拶

このたび保護司として委嘱をうけ、東灘区に配属されました伊藤裕啓です。

これまで地域活動をする中で保護司の存在を知っていましたが、実際の活動内容については、保護司に推薦され初めて深く知る事になりました。これまでの社会経験をいかし、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるというとても大切な役割を少しでもお手伝いすることができればと考えています。今年はコロナ禍により委嘱式が中止され、まだ保護司としての自覚は不十分ですが、すでにご活躍されている保護司の方の指導を受けながら精一杯頑張りたいと考えています。配属先の東灘保護司会の皆様、よろしくお願いいたします。

○本庄支部 谷口千絵保護司

東灘区保護司会の皆様、はじめまして。5月に保護司を拝命した谷口千絵です。昨年、短期短時間採用ではありますが、保護観察所に勤務した縁で今回委嘱を受ける事になりました。

保健師の資格を持ち、これまで健康増進や福祉の業務に従事していましたが、社会活動は福祉ボランティア経験以外、全く初めてです。対人援助職としてはまだ発展途上段階であり、家庭や人間関係の問題や障がい、病気を抱えながら地域で

生活する様々な人と関わる中で、時代の変化に合わせた対応支援方法を学び続ける必要があると感じております。人とのつながりを大切にしながら、保護司の役割が果たせるよう努めてゆきます。

保護司活動を通して諸先輩方にご教示頂きながら、より良い地域社会づくりのために尽力する所存です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ○住吉支部 上畠寛弘保護司 新任挨拶

はじめまして、上畠寛弘（うえはた のりひろ）と申します。私にとって身近な方々が保護司を務められ、それぞれの方が立場や仕事がありながらも、罪を犯した人の更生を援助し、犯罪予防のための啓発活動に奉仕されている姿をみて、先輩保護司の方々のように私も貢献できればと考えていたところ、ご推薦を賜り、この度の保護司拝命に至りました。

私はかねてより社会安全政策を研究し、そして現在の立場でも、社会安全政策の立案と遂行に取り組んでいます。大阪府警の本部長を務めた教授は、逮捕は対処療法でしかない、本当に犯罪を抑えるには根本治療、体質改善が必要だ。その為には行政、学校、地域と社会が当事者意識を持ち対応しなくてはならないと常日頃から話していました。

保護司の大きな役割である罪を犯した人々の更生を援助することは、再犯を防ぐことにつながります。それは被害者も加害者も出さないということであるとともに、誰も被害者の家族、加害者の家族にしないということ、そして周囲の人々も悲しませないということです。

再犯を防ぐとは、1人の更生だけではなく、社会全体にとって大きな意義のあることと確信しています。世界中の国々の中でも、保護司制度のある国は、わずか6か国程度です。特に日本の保護司制度は世界からもロールモデルとして期待されています。世界の模範となっているのは、まさに先輩保護司の皆様の努力の賜物であると感じます。

私も若輩者ではございますが、東灘区保護司会の先輩保護司の皆様にご指導を頂きながら、保護司の使命を果たし、ここ東灘区から日本社会に貢献して参る所存です。

ご指導の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 【情報収集コーナー】

### ○法務省 更生保護座談会シリーズ「広がり、つながる更生保護～その今と未来～」【非行当事者から支援者へ】



### 【地域からの便り】

### ○5月14日 新聞記事投稿大森保護司（中央区保護司会）

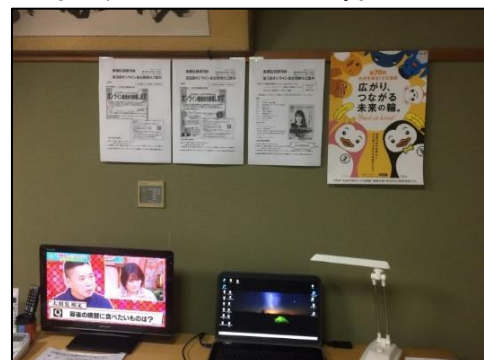


### ○5月12日 TV番組紹介大森保護司（中央区保護司会）



### 【会員の投稿（保護司関連の話）】

### ○令和3年5月2日サポセン当番



ゴールデンウィーク、例年ならどこかへ出向いているのですが、今日の午前サポセン当番。「ホームページだより」5月1日発行を印刷して、各支部のレターボックスに配布、多機能複写機FAXのグループアドレス登録の見直し、「更生保護」4月号を熟読（特集 保護司を取り巻く現状：読み応えあり）、昨日郵送されてきた観察所書類を総務のレターボックスに、そして「第1～3回オンライン自主研修」チラシをA3版に印刷して、サポセン内に掲示、あつという間の3時間でした。（和田保護司投稿）

○令和3年5月5日新聞記事投稿（石田保護司）



○令和3年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

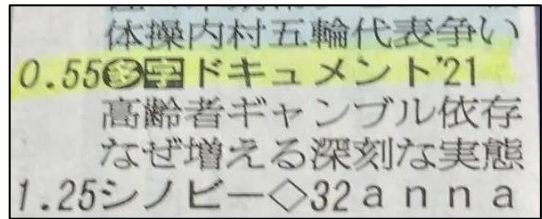


○新聞記事投稿（山下保護司）



○少年刑務所を出た「元半グレ」はなぜ恩人の雇い主を裏切ったか 元半グレを雇う「協力雇用主」の奮闘～ともに歩む更生の道（上）（和田保護司）

○5月16日 テレビ番組紹介（中瀬保護司）



○5月16日『どうしても頑張れない人たち』（石田保護司）

『どうしても頑張れない人たち』  
“ケーキの切れない非行少年たち”  
第2弾です。  
今回の著書も考えさせられました。いかに自分の思考が浅はかなのかと。頑張れば支援します 勉強したい気があればいくらでも資料を提供します 至極当たり前の事だと、表面上は理解出来る しかし、そもそも頑張れない人たちはどうなるのか？ と疑問を投げかけています。メンタルヘルスに取り組んでいるとよくわかります。皆さんもご存知の通り、メンタルダウンしている方に頑張れ は、言うてはいけないのです。非行少年たちには、どうなのでしょう。境界知能の範囲の方にはどうなのでしょう。初めは頑張ってきたんだけど 上手くいかず失敗して怒られてばかり。周りからは、何でこれが出来ないんだと責められてばかり。そのような人たちに、頑張ったら支援するよ、が響くでしょうか？メンタルヘルスもそう。まずは傾聴から。相手を否定しない。でもでも、頑張らなくても良いわけではない。ココが難しいんですね。皆んな違って皆んないい♪聞こえは良いです。でも、皆んなと同じになりたい人たちも沢山いるんですね。ホントに難しい道です。まだまだ勉強して



自己成長していこうと  
思いました。

夢を叶えるために！

○5月16日 記者ルポ「女性刑務所」の全8  
回を一挙掲載（和田保護司）



ONHKBS 今秋 プレミアムドラマ「生きて、ふたたび 保護司・深谷善輔」（和田保護司）



○5月18日 「君の笑顔に会いたくて」（中瀬保護司）  
何かの資料で書名を知り、図書館で借りて読みました。「君の笑顔に会いたくて」。大病を克服し、誠心誠意保護司活動をされており、少年院から出た後の受け皿となる少年の家を造る夢の実現に取り組んでいます。



○法務省 更生保護の国際発信



○5月21日 Yahoo ニュース（川西保護司）  
少年法の改正をめぐって、5月20日、参議院法務委員会で改正案が可決され、国会での審議は大詰めを迎えています。

○5月21日 Yahoo ニュース（和田保護司）  
18、19歳は「特定少年」 起訴後は実名報道解禁 改正少年法成立

○少年法等の一部を改正する法律案

○「罪を犯した18歳及び19歳の者に対する矯正教育（仮）に係る検討会」報告書について

【会員の投稿（東灘に関するなんでも話）】

○5月5日 FACEBOOK（道谷保護司）  
今年、母校・御影高校の創立80周年という節目の年です。同窓会・清明会会長として、この秋に行われる記念式典に向けて準備を進めています。記念式典の実行委員長のほか、とりわけ、郷土史家として「80周年記念誌」の監修、および、その中に収録する「黎明期の沿革史」の執筆を担当しています。巣ごもり状態のゴールデンウィークを利用して、「＜黎明期の沿革史＞ 御影高校の黎明～県三から御影への懸け橋」、なんとか校了することが出来ました。御影高校は、1941年（昭和16）4月1日、兵庫県立第三神戸高等女学校として設立され、途中、1948年（昭和23）4月1日、学制改革により、新制高校として兵庫県立御影高等学校となりました。灘区勘太郎山（現在の神戸大学文学部の学舎のあたり）に建設中の校舎が1945年（昭和20）8月6日の神戸大空襲で焼失し、紆余曲折の末、御影の地に永住移転を決め、新制高校としてスタートしました。この勘太郎山の校舎が無事であれば、御影高校という名称でなかったでしょうし、神戸大学の文学部も今の場所にはなかったかもしれません。拙稿では、旧制高等女学校から新制高等学校へ切り替わる際の複雑怪奇な移行措置や、御影移転のいきさつなど、様々な資料をひっくり返してできるだけ平易にまとめたつもりですが、今回は、ステイホームの実践で、相当早く書き上げることが出来ました。あとは、記念誌全体の監修作業をがんばります。

## 【会員の投稿（その他）】

### ○ベルヴィル阪急岡本店（石田保護司）

阪急岡本駅改札口出てすぐの所にあります。

ふわふわのパンケーキが 大人気ですっ！

量がすごく食べごたえ抜群(^\_^)

ハンバーガー、カレーライスなども他のメニューも揃っています。

LINE 友達追加すると

その場でコーヒー一杯無料になります。

お昼に行くもよし、

おやつに行くもよし。

おすすめのお店です。



### ○5月12日 FACEBOOK 道谷保護司

**Takashi Michitani**  
8時間前 · 公

刑事訴訟法の遠隔授業のあと、午後から朝日放送の報道番組「キャスト」の「なんでやねん！」の取材口々に郷土史家として行って来ました。とうとう神戸の歴史ネタの時は、お呼びがかかるようになってしまいました。

今日の疑問は、「生田川に何かを通すトンネルがあるのなんでやねん!？」です。今回は、私の授業の関係で、全行程をお付き合いできず、途中は電話で取材を受けヒントを出しながら、最後の答え合わせのところだけ現地に行って話しをしました。今回は、番組のキャスター・古川昌希アナウンサーと、4月からこのコーナーに加わった研修生の佐藤修平アナウンサーと三人で、雨の中、傘を差しながら、北野町の異人館・風見鶏の館周辺でなんでやねん!？の答え合わせをしました。生田川の謎の答えがどうして北野町の異人館街にあるのか？その秘密は、是非、番組でどうぞ！

放送は来週、5月18日(火)午後6時30分から7時までの間のごくで流れる予定です。  
(古川アナ、佐藤アナと風見鶏の館の玄関で写真を撮りました。)



### ○5月18日 FACEBOOK 道谷保護司

今日（5月18日）の朝日放送「キャスト」の「なんでやねん!」、平日にもかかわらず、多くの方々にご覧いただけたようで、放送後、LINEやメールで、多数の知人から「見ましたよ!」とご連絡をいただきました。

今日の疑問は、「生田川に何かを通すトンネルがあるのなんでやねん!？」ですが、このトンネル、北野町の異人館街・風見鶏の館の裏を起点とする二級河川・北野川の河口部分なのです。今、

北野川は地下河川（暗渠）となっているので、地上を歩いても川がどこを流れているかわかりません。古川アナが、河川を示すマンホールを見つけたことで、北野川の存在が明らかになったのは、番組でも放映されていました。ネタばらしをすると、このマンホール、古川アナが自力で見つけた様に編集されていましたが、実は、私にヒントを求める電話をかけており、私が「そのあたりの地面を這いつくばって探してみてね!」と答えていたのですが、この電話のシーン、完全にカットされていました。



それから、前回の徳川道と同じく、今回のオチの解説でも、重要なポイントが一つ、時間の関係でカットされてしまいました。その重要なポイントとは、昭和13年（1938）の阪神大水害です。

今は暗渠となっている北野川、江戸時代までは、小さな川として、今の北野坂をまっすぐ南に海まで流れていましたし、旧居留地のすぐ東を流れていたこともあり、一時はこの居留地の掘割にもなっていました。明治20年代に居留地の外国人たちが北野に異人館を建てて移り住むようになり、北野町が形成されていくわけですが、街がつくられるとこの川は、邪魔な存在になっていきます。雨が降ると川幅も狭いため水があふれてしまい、また、生活排水を流すことで異臭がするという問題が生じ、とうとう川に蓋がけをして暗渠化してしまい、流れも途中で変えて生田川に流すようにしたのです。それが、生田川に八雲橋から北に向かって左手に見える大きなトンネル（北野川の河口部分）です。

このように、川を暗渠化することで問題解決とな

ったのですが、それを打ち砕いたのが、昭和13年の阪神大水害でした。谷崎潤一郎の「細雪」にもその様子が描写されていますが、六甲南麓の河川が大氾濫して、大きな被害をもたらしました。この時、北野川も、暗渠化したことがアダになり、土砂が暗渠の入り口であふれかえり、北野町周辺に甚大な被害をもたらし、風見鶏の隣にある北野神社の鳥居が半分以上埋まったそうです。

その後、北野川をかかえる北野町では、大雨になると阪神大水害の悪夢を想像し、何とかしなければと思うのですが、その解決方法としては、蓋がけをやめ暗渠ではなく普通の開渠の河川にして川幅を広げるのが模範解答なのですが、幅を広げれば街並みを変えることになり、それは無理です。そこで、その解決策として造られたのが、番組の最後に紹介した「沈砂池（ちんさち）」です。一見ダムのようにも見えますが、ダムとは正反対の役割をするものです。ダムは、一定の水量を流すために水を堰き止めるものですが、沈砂池は、そこで土砂をろ過して水だけを流すものです。

ということで、古川アナたちの解答、「街づくりのために川を地下にした」というのがなぜ50点かというと（阪神大水害がなければ正解だったのですが）、阪神大水害があったことで、その街並みを維持し、かつ、水害の危険を除去するためには、川を地下にしたままで「沈砂池」を造るということまで言及していないからです。ただ、この正解に至るには、やはり、阪神大水害のことを触れる必要があるので、番組でそのことがカットされたのは残念です。

**【事業報告】**  
**○本山支部会**

日時 4月4日（日）19:00～20:30  
場所 東灘区更生保護サポートセンター  
出席者 桑山、和田、山下、松澤、川西、松本、永井、藤田、井上、中瀬、大西保護司  
LINEビデオ 石田保護司



**議題 ・ 連絡事項**

- ホームページ日より3月号の説明
- オンライン研修会の受講について
- 令和3年度総会（書面議決）について

- 会費の徴収
- 本山支部令和2年度決算令和3年度予算の審議
- ・ 審議事項
- 本山支部活動のチラシについて
- 第71回社会を明るくする運動 メッセージ動画について
- 東灘区役所との連携活動について
- 本山支部OB懇談会について
- 本山支部慶弔規定について
- 第71回社会を明るくする運動
- 本山支部活動について
- その他（和田保護司投稿）

**○本山支部「保護司活動のご案内」チラシ完成**

○社会を明るくする運動ポスター



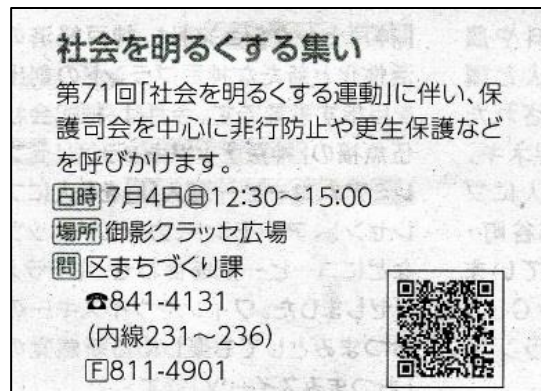
○OT 甲南大学法学部法学科紹介に「更生支援プロジェクト」の紹介



○TWITTER 法務省保護局



○東灘区コミコミ2021年6月号 「社会を明るくする集い」掲載



○社明運動打合せ

日時 5月24日(月) 18:30~20:20

場所 LINE 通話

参加者 和田・松澤保護司、樋口BBS会員 議題

①第71回社会を明るくする運動について  
チラシ、メッセージ動画、御影クラッセ掲示のポスターなど

②KA大学との連携活動について

③KO大学との連携活動について

当初、LINEビデオで打ち合わせたのが、通信回線不都合のため画像フリーズ、会話の途切れなどがあり、LINE通話に変更。2時間余りの打合せで疲れたが、成果の多い、充実した内容であった。女性陣の会話力に感服。(和田保護司投稿)

